

事前伺い

[平成19年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

群馬大学工学部生産システム工学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 群馬大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

総務部企画評価課

企画係長 ユモト 湯本 ナオキ 直哉

電話番号 027-220-7015

F A X 027-220-7030

e-mail kacho-akikaku@jimu.gunma-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

- 2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 . . . 」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、
その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部
(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

	頁
1 . 調査対象大学等の概要等	1
2 . 授業科目の概要	6
3 . 既設大学等の状況	1 2
4 . 教員組織の状況	1 3
5 . その他全般的事項	1 4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 群馬大学

(2) 大学名

群馬大学

(3) 大学の位置

〒373-0057

群馬県太田市本町29-1

(〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	3年次	人	
生産システム工学科 (昼間コース)	4	40	2人	160	
生産システム工学科 (夜間主コース)	4	30	若干名	120	
学士(工学)					

(注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - 調査対象学部等の入学者の状況

(生産システム工学科: 昼間コース)

区分	対象年度				平均入学定員 超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-) 40人	(-) 40人	(2) 40人	(2) 40人	1.13倍	
志願者数	(-) 200	(-) 156	(0) 113	(2) 113		
受験者数	(-) 147	(-) 127	(0) 98	(2) 88		
合格者数	(-) 53	(-) 46	(0) 45	(2) 46		
B 入学者数	(-) 51	(-) 44	(0) 44	(2) 41		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.27	(-) 1.10	(0) 1.10	(1) 1.02		

(生産システム工学科: 夜間主コース)

区分	対象年度				平均入学定員 超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-) 30人	(-) 30人	(若干名) 30人	(若干名) 30人	1.13倍	
志願者数	(-) 248	(-) 116	(2) 132	(0) 111		
受験者数	(-) 161	(-) 84	(2) 84	(0) 76		
合格者数	(-) 40	(-) 36	(1) 36	(0) 37		
B 入学者数	(-) 37	(-) 35	(1) 30	(0) 34		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.23	(-) 1.16	(-) 1.00	(-) 1.13		

- (注)・()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の在学者の状況
(生産システム工学科：昼間コース)

学年	対象年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[1] 51	[0] 44	[1] 44	[2] 41	各年度5月1日の状況を記載。 [21年度]2年次には留年者1名を含む。3年次には他学科に転籍した学生1名を除く。 [22年度]2年次には留年者1名を含む。3年次には留年者2名を含む。夜間主コースへの転学科1名を除く。
2年次	[-]	[1] 51	[0] 45	[1] 45	
3年次	[-] -	[-] -	[1] 49	[1] 46	
4年次	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 46	
計	[1] 51	[1] 95	[2] 138	[5] 178	

(生産システム工学科：夜間主コース)

学年	対象年度 平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[0] 37	[0] 35	[0] 31	[0] 35	各年度5月1日の状況を記載。 [21年度] 1年次には留年者1名を含む。2年次には留年者1名を含む。3年次には編入学生1名を含む。 [22年度] 1年次には留年者1名を含む。2年次には留年者1名を含む。3年次には留年者1名を含む。昼間コースからの転コース者1名を含む。
2年次	[-]	[0] 36	[0] 32	[0] 31	
3年次	[-] -	[-] -	[0] 35	[0] 31	
4年次	[-] -	[-] -	[-] -	[0] 34	
計	[0] 37	[0] 71	[0] 98	[0] 131	

- (注) ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況
(生産システム工学科：昼間コース)

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [0] 0	計 [1] 51	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 51人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0] 0	計 [1] 95	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 51人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 44人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 2	計 [2] 139	[0%] 1.4%
	うち平成19年度入学者 2人	うち平成19年度 51人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 44人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 44人	
	(主な退学理由) 大学院への進学 2名		
平成22年度	計 [0] 0	計 [4] 180	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 51人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 44人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 44人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 41人	
(主な退学理由)			

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

就学意欲の低下	学力不足	他の教育機関への入学	転学	海外留学
就職	学生個人の心身に関する事情	家庭の事情	除籍	その他

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況
(生産システム工学科：夜間コース)

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [0] 1	計 [0] 37	[0%] 2.7%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 37人	
	(主な退学理由) 仕事と学業の両立が困難なため 1名		
平成20年度	計 [0] 4	計 [0] 72	[0%] 5.6%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 37人	
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 35人	
	(主な退学理由) 他の機関への受験 3名、仕事と学業の両立が困難なため 1名		
平成21年度	計 [0] 2	計 [0] 102	[0%] 2.0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 37人	
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 35人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 30人	
	(主な退学理由) 大学院への進学 2名		
平成22年度	計 [0] 0	計 [0] 136	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 37人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 35人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 30人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 34人	
(主な退学理由)			

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

就学意欲の低下	学力不足	他の教育機関への入学	転学	海外留学
就職	学生個人の心身に関する事情	家庭の事情	除籍	その他

2 授業科目の概要

<工学部 生産システム工学科>

(1) 授業科目表

(生産システム工学科：昼間コース)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 科 目	学修原論	人間と文化を理解する	1-2	2								<p>教養教育科目(全学共通)については大学教育センターを中心に全学的に行っている。</p> <p>学修原論及び総合科目の授業科目の変更は、付随する授業題目を整理し、学生の履修登録時に混乱をきたさないように配慮したものであり、授業内容や学修目的に大きな変更はない。(20)</p> <p>また、学修原論「数理と自然を考察する」の2年次開講の1科目は、生産システム工学の基礎的科目であり、今後の専門科目の学習効果を高めることを目的に全教員を配置した。(20)</p> <p>昇任、採用により変更(22)</p>
		人間と文化を探る	1-2	2								
		人間を理解する	1-2	2								
		現代社会と歴史を考察する	1-2	2								
		現代社会を知る	1-2	2								
		歴史を考察する	1-2	2								
		数理と自然を考察する	1-2	2			5	8		5		
		数の論理を探る	1-2	2			4	9		3		
		自然と対話する	1-2	2				1				
	総合科目	人間理解と多文化共生	1-2-3-4	2								
		人間理解の諸相	1-2-3-4	2								
		文学とその周辺	1-2-3-4	2								
		言語の諸相	1-2-3-4	2								
		芸術・創造と鑑賞	1-2-3-4	2								
		現代社会と環境問題	1-2-3-4	2								
		現代社会の認識と問題	1-2-3-4	2								
		生活の科学	1-2-3-4	2								
		生活と環境	1-2-3-4	2								
		科学的世界と生命・健康	1-2-3-4	2								
		科学的把握	1-2-3-4	2								
		数学の世界	1-2-3-4	2								
	生命と健康	1-2-3-4	2									
	国際社会と地域社会	1-2-3-4	2									
	地域と文化	1-2-3-4	2									
	情報処理	情報処理入門	1	2								
	健康科学	健康学原論	1	2								
		健康・スポーツ科学	1	1								
外国語	英語	1-2	4									
	フランス語	1-2-3-4	2									
	ドイツ語	1-2-3-4	2									
	中国語	1-2-3-4	2									
	スペイン語	1-2-3-4	2									
	イタリア語	1-2-3-4	2									
	ポルトガル語	1-2-3-4	2									
	韓国語	1-2-3-4	2									
選択英語	1-2-3-4	2										
人文分野	哲学	1-2-3-4	2									
	倫理学	1-2-3-4	2									
	文学	1-2-3-4	2									
	心理学	1-2-3-4	2									
	歴史学	1-2-3-4	2									
	考古学	1-2-3-4	2									
	芸術	1-2-3-4	2									
社会分野	法学	1-2-3-4	2									
	日本国憲法	1-2-3-4	2									
	政治学	1-2-3-4	2									
	経済学	1-2-3-4	2									
	社会学	1-2-3-4	2									
	文化人類学	1-2-3-4	2									
	地理学	1-2-3-4	2									
教育学	1-2-3-4	2										

	自然分野	地球科学	1・2・3・4		2								
		生命科学	1・2・3・4		2								
		数理科学	1・2・3・4		2								
		物質科学	1・2・3・4		2								
	学部別科目	数学(微積分学)	1	2									
		数学(微分方程式)	1	2									
		数学(微積分学)	1	2									
		数学(線形代数学)	1	2			1						
		物理学(物理学基礎)	1	2			1	+					昇任により変更(20)
		物理学(力学演習)	1	1			1						
		化学(化学)	1	2					1				
		化学(化学実験)	1	1			1						
		数学入門	1		2		1						
	専門A	生産システム工学概論					5	8		5			昇任、採用により変更(22)
							4	9		4			授業内容充実のため、全教員を配置することとした(19)
			1	2			2	2					
		工業力学	1	2			1						
		線形代数学II	1	2									
		材料力学I	2	2			1						
		機械材料	2	2			+	1					退職により変更(20)
		機械加工学	2	2			+	1					退職により変更(21)
		基礎電子工学	1	2			1	+					昇任により変更(20)
		電磁気学	2	2					1				
		電気回路	2	2					1				
		電磁気・電気回路演習	3	1					1		+		昇任により変更(20)
		物理化学	2	2			1	+					昇任により変更(20)
		高分子成形加工	3	2			1				1		授業内容充実のため教員を追加(20)
		プログラミング言語I	2	2					1				
		プログラミング演習	2	1							1		
		機械基礎演習	3	1							1		
		数学演習	2	1							1		
		専門外国語	2	2			1						
		設計製図	2	1			1	2					授業内容充実のため教員を追加(21)
		CAD/CAM/CAE演習	3	1			2	4					昇任により変更(22)
							4	2					退職により変更(21)
		生産システム工作実習	2	1			3	3		3			
		生産システム総合実習	2	1			2	2		2			
		生産システム工学実験I	3	1			3	3		1			
		生産システム工学実験II	3	1			2	6		2			
							5			5			
		卒業研究	4	10			4	8		3			昇任、採用により変更(22)
							5	9		4			退職、昇任により変更(21)
	専門教育科目	確率統計	3		2								
		微分方程式演習	2		1		1						
		ベクトル解析	2		2		1						
		偏微分方程式	3		2		1						
		複素解析	2		2				1				
		基礎量子論	2		2				1				
		熱流体力学	2		2								
		材料力学II	2		2		1	4					昇任により変更(22)
		弾塑性力学	3		2		1						
		溶接工学	3		2				1				
		材料表面加工	3		2				1				
		生産システム設計	2		2				1				専任教員を配置(20)
		メカトロニクス	3		2				1				
		ロボティクス	3		2				1				
		金型工学	2		2								
		自動車工学	3		2								
		冷凍機器工学	3		2								
		品質工学	3		2				1				
		電子回路	2		2		1						
		制御工学	3		2		1						

計測工学	3	2		1			
電気電子機器	3	2		1			
電子材料	3	2		1			
高分子化学	2	2		1			
トライボロジー	3	2	1				
コンピュータ概論	2	2		1			
プログラミング言語II	2	2		1			
コンピュータハードウェア	3	2		1			
コンピュータネットワーク	3	2		1			
人工知能	3	2		1			
システム工学	3	2	1				
生産システムシミュレーション	3	2	1				
インターンシップ	3	2	1	1			
特許知的所有権	4	2					
生産システム工学特別講義I	2・3・4	2					
生産システム工学特別講義II	2・3・4	2					

(生産システム工学科・夜間主コース)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
教養教育科目	全学共通科目	学習原論	人間と文化を理解する	1・2	2								<p>教養教育については大学教育センターを中心に全学的に行っている。</p> <p>学修原論及び総合科目の授業科目の変更は、付随する授業題目を整理し、学生の履修登録時に混乱をきたさないように配慮したものであり、授業内容や学修目的に大きな変更はない。(20)</p> <p>「科学的世界と生命・健康」は、その分野に精通した教員を配置することにより学習効果の向上を図るため、担当教員を追加(20)</p> <p>昇任、採用により変更(22)</p>
			人間と文化を探る	1・2	2								
			人間を理解する	1・2	2								
			現代社会と歴史を考察する	1・2	2								
			現代社会を知る	1・2	2								
			歴史を考察する	1・2	2								
			数理と自然を考察する	1・2	2			5	8		5		
			数の論理を探る	1・2	2			4	9		3		
			自然と対話する	1・2	2								
			総合科目	現代社会と環境問題	1・2・3・4	2							
	生活と環境	1・2・3・4	2										
	科学的世界と生命・健康	1・2・3・4	4										
	科学的把握	1・2・3・4	4										
	数学の世界	1・2・3・4	2										
	情報処理	情報処理入門	1・2・3・4	2									
	健康科学	健康学原論	1・2・3・4	2									
	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学	1・2・3・4	1									
	外国語	英語	1・2・3・4	4									
	分野別科目	人文分野	歴史学	1・2・3・4	2								
			社会分野	日本国憲法	1・2・3・4	2							
社会学		1・2・3・4	2										
地理学		1・2・3・4	2										
自然分野		地球科学	1・2・3・4	2									
		生命科学	1・2・3・4	2									
		数理科学	1・2・3・4	2			1						
		物質科学	1・2・3・4	2				1					
専門A		生産システム工学概論	1	2			5	8		5		<p>昇任、採用により変更(22)</p> <p>授業内容充実のため、全教員を配置することとした(19)</p> <p>退職により変更(21)</p> <p>授業内容充実のため、教員追加(20)</p> <p>授業内容充実のため、教員追加(21)</p>	
		専門外国語	4	2			4	9		4			
	工業力学	1	2										
	工業力学演習	1	2						1				
	材料力学	1	2			1							
	機械材料	2	2				1						
	機械加工学	3	2			1	1						
	機械基礎演習	3	2						1				
	基礎電子工学	1	2				1						
	電気回路	2	2				1						
	物理化学	2	2				1						
	高分子成形加工	3	2			1			1				
	プログラミング言語I	1	2				1						
	プログラミング演習	2	2						1				
	数学演習	2	2						1				
設計製図	2	2			1	2							
CAD/CAM/CAE演習	2	2				1							
生産システム工学実習	3	2			2	2		2					

	生産システム工学実験I	3	2			3	3		1	
	生産システム工学実験II	4	2			2	6		2	
専門 B	基礎数学I	1		2			1			
	基礎数学II	1		2			1			
	応用数学I	2		2			1			
	応用数学II	2		2			1			
	工業化学概論	1		2		1				
	熱流体力学	3		2		1				授業内容充実のため、教員追加(21)
	弾塑性力学	2		2		1	1			昇任により変更(22) 退職により変更(20)
	溶接工学	3		2			1			
	生産システム設計	4		2			1		1	昇任により配置変更(20)
	メカトロニクス	3		2			1			
	金型工学	2		2						
	自動車工学	3		2						
	冷凍機器工学	3		2						
	品質工学	4		2						
	計測工学	3		2		3	1			授業内容充実のため、教員追加(20)
	電子回路	2		2			1			
	制御工学	3		2		1				
	高分子化学	3		2		1				
	プログラミング言語II	2		2			1			
	コンピュータハードウェア	3		2			1			
	コンピュータネットワーク	3		2			1			
	人工知能	4		2			1			
	システム工学	3		2		1				
	インターンシップ	3		3		1	1			
	特許知的所有権	4		2						
						5			5	
生産システム工学ゼミ	4		2		4	8	3		昇任、採用により変更(22) 退職、昇任により変更(21)	
					5	9	4			
生産システム工学特別講義I	2・3・4		2							
生産システム工学特別講義II	2・3・4		2							
生産システム工学特別講義III	2・3・4		2							
					5			5		
卒業研究	4		8		4	8	3		昇任、採用により変更(22) 退職、昇任により変更(21)	
					5	9	4			

(注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

(生産システム工学科：昼間コース)

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 36	科目 81	科目 0	科目 117	科目 36	科目 71	科目 0	科目 107	教養教育科目においては、大卒の区分である授業科目が統合されたが、付随する授業科目については大きな変更はない。
				[]	[10]	[]	[10]	

(生産システム工学科：夜間主コース)

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 20	科目 51	科目 0	科目 71	科目 20	科目 47	科目 0	科目 67	教養教育科目においては、大卒の区分である授業科目が統合されたが、付随する授業科目については大きな変更はない。
				[-]	[4]	[-]	[4]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

(生産システム工学科：昼間コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(生産システム工学科：夜間主コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

(生産システム工学科：昼間コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(生産システム工学科：夜間主コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(生産システム工学科：昼間コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(生産システム工学科：夜間主コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに，[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	群馬大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部 学校教育教員養成課程	4	220		880	学士(教育学)	1.03	H11	群馬県前橋市 荒牧町4-2	
社会情報学部			3年次					群馬県前橋市	
情報行動学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	0.95	H18	荒牧町4-2	
情報社会科学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	1.14	H18		
医学部			2年次					群馬県前橋市	
医学科	6	95	15	595	学士(医学)	1.00	S24	昭和町3-39-2	
保健学科	4	160	25	690	学士(看護学) 学士(保健学)	1.06	H8		
工学部(昼間コース)			3年次						
応用化学・生物化学科	4	170	30	510	学士(工学)	1.04	H19	群馬県桐生市	
機械システム工学科	4	70		210	学士(工学)	1.10	H元	天神町1-5-1	
生産システム工学科	4	40		120	学士(工学)	1.11	H19		
環境プロセス工学科	4	40		120	学士(工学)	1.09	H19	群馬県太田市	
社会環境デザイン工学科	4	40		120	学士(工学)	1.09	H19	本町29-1	
電気電子工学科	4	70		210	学士(工学)	1.08	H元	(生産システム工学科のみ)	
情報工学科	4	50		200	学士(工学)	1.07	H元		
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止
材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止
生物化学工学科	4	-		-	学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止
建設工学科	4	-	-	学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止	
工学部(夜間主コース)									
生産システム工学科	4	30			学士(工学)	1.13	H19	群馬県太田市	
応用化学科	4	-			学士(工学)	-	H元	本町29-1	平成19年度より募集停止
生物化学工学科	4	-			学士(工学)	-	H元	(生産システム工学科のみ)	平成19年度より募集停止
機械システム工学科	4	-			学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止
電気電子工学科	4	-			学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止
情報工学科	4	-			学士(工学)	-	H元		平成19年度より募集停止

(注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 生産システム工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	9	0	4	18	0	5	8	0	5	18	0	
(5)	(9)	(0)	(4)	(18)	(0)	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合： 1)

5 その他全般的事項

<工学部 生産システム工学科>

情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 7月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.gunma-u.ac.jp/news/setikeikaku/20.1.10setikeikaku.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学) 」としてください。